

親子聖書日課

NO.1963 2026.5/10-16

名前

[日]主は「私である」と名乗りをあげました。主は十字架を恐れませんでした。それは「父がお与えになった杯」なので、「飲むべき」と決断されたからです。主が与えて下さるものは、全て最善で完全な恵みです。死でさえも、打ち勝たれました。

[月]ペトロは主を助けるために、勇敢にも大祭司の手下に襲いかかりました。しかし、自分が危険になると、嘘をついて逃げ出すのです。誰でもこのペトロのように、弱い人間ではないでしょうか。だから、私達には主の十字架の赦しが必要です。

[火]ピラトは「真理とは何か」と主に尋ねながら、答えを得ないまま、その場を立ち去りました。ですから、真理を見い出せず、人を恐れ、主を十字架につけたのです。真理を求めたいなら、最後まで主の声を聞くべきです。真理は、人を生かします。

[水]ピラトは世論に屈して、自分の地位と名誉を守るために、良心の声を消し去りました。良心を売る人は、主を十字架につけるのです。私達は、お金や名誉、地位や快樂のために、信仰を売るようなことはあってはいけません。イエスは主です。

[木]主が「ユダヤ人の王」として十字架につけられたことには意味があります。それは世界の諸国民の代表がユダヤ人で、そのユダヤ人を代表するのが王でした。主イエスは全人類を代表して、罪の裁きを一身に負われ、救いを完成されました。

[金]「遂にやられた」ではなく、「成し遂げられた」と言って、主は息を引き取られました。十字架の苦しみを最後まで耐え忍び、預言の実現を見届けて死なれました。主の十字架の死によって、私達の救いが成し遂げられたことに、感謝しましょう。

[土]墓だけに心が奪われる時、泣かないではいられません。墓は消滅の印です。しかし、主を信じる者は、墓を超えて勝利があります。主が復活されたからです。「私のお墓に立って、微笑んで下さい。すでに天国にいるからです」と歌えるのです。



| | 聖書 | 問題 | 答え |
|----------|-----------------|--------------------------------|----|
| 日 | ヨハネ 18:1-14 | 父がお与えになった何を飲むべきですか。 | |
| 月 | 18:15-27 | ペトロは主の弟子ではないと、何度打ち消しましたか。 | |
| 火 | 18:28-38 | 真理に属する人は皆、主の声をどうしますか。 | |
| 水 | 18:38- 19:16 | 祭司長たちや下役たちは、主を何につけよと、叫びましたか。 | |
| 木 | 19:16-27 | ピラトは何という罪状書きを書いて、主を十字架にかけましたか。 | |
| 金 | 19:28-42 | 主は何と言い、頭を垂れて、息を引き取られましたか。 | |
| 土 | 20:1-18 | マリアは振り向いて、主に向かって、何と言いましたか。 | |
| 感想と祈りの課題 | | | |